

## 「深井保健科学研究所セミナー」(2012年1月～2012年12月)

### ◆深井保健科学研究所第11回コロキウム

“開かれた社会”における口腔保健・健康増進の展開

Perspectives on oral health and health promotion in the new open society

#### ■開催趣旨：

昨年8月、「歯科口腔保健の推進に関する法律」が公布・施行された。「口腔保健」という名称のついた法律はわが国で最初のものとなった。この背景には、口腔保健と全身的な健康増進との関係が、基礎研究と疫学研究から明らかになってきていることと共に、口腔保健が、多くの関連する職種と健康施策の連携によって達成されることが広く認識されるようになってきたことがある。

一方、わが国は短期間で世界一の長寿社会を達成し、その保健医療システムに世界が注目するようになってきた。国際誌 Lancet でも、Japan 特集号 “Japan : Universal Health Care at 50 Years, Aug 30 2011)” が生まれ、“なぜ日本人は健康なのか” について最新のデータに基づく論説と知見が紹介されている。

前回のコロキウムでは、「新しい公衆衛生における健康度評価の課題」を取り上げ、それに続いて沖縄では「歯の喪失を考える」特別セミナーを開催した。今回のコロキウムでは、これまでの議論と内外の動向を踏まえて、歯の喪失防止におけるリスクファクターへのアプローチ、そして国民皆保険制度達成50年を経過した現在、口腔保健・歯科医療のこれまでの推移と現在の課題についてシンポジウムの中で議論を深める。特に、

- (1) 歯の喪失のリスクファクター
- (2) 健康社会を目指す歯科口腔保健のこれからの展開

について、これまでの科学的知見および保健医療施策から、明らかになっていること、研究の進展がさらに必要なこと、求められる政策上のチャレンジの3点について現時点のまとめ（コロキウム2012提言）を今回のコロキウムで行いたい。

■主 催：深井保健科学研究所

■日 程：2012年7月15日（日）10時15分受付

■会 場：東京国際フォーラム ガラスホール棟6階 G602  
〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-5-1 JR有楽町駅下車

■プログラム：

10：15 受付開始

11：15 開会

黙祷 重松逸造先生（深井保健科学研究所歯科疫学研究会顧問）2012年2月6日ご逝去  
第11回コロキウム主旨説明 深井穫博（深井保健科学研究所）

11：30－12：45 ヘルサイエンス・ヘルスケア最新トピックス（各10分～15分）

座長：遠藤眞美（九州歯科大学）、星 佳芳（北里大学）、高柳篤史（高柳歯科医院）

1. 深井穫博（深井保健科学研究所）：地域口腔保健の評価と指標を考える（宿題講演）
2. 岡本悦司（国立保健医療科学院）：既存データで因果関係はわかるか？－プロペンシティスコア（傾向得点）法をめぐって
3. 山本龍生（神奈川歯科大学）：大規模コホート研究からみえてきた高齢者の歯数・義歯と転倒との関係
4. 野村義明（鶴見大学歯学部）：歯根膜の再生は可能か？iPS細胞を利用したアプローチ
5. 財津 崇（宇宙航空研究開発機構（JAXA）、東京医科歯科大学）：宇宙歯学－究極の予防歯学としての発展へ向けて
6. 大山 篤（神戸製鋼所 東京本社 健康管理センター）：診療参加型臨床実習に患者の協力は得られるのか？
7. 藤井由希（公益財団法人 ライオン歯科衛生研究所）：歯科衛生士に必要なコミュニケーションスキルとは
8. 簗輪眞澄（元国立保健医療科学院疫学部部長）：日本の疫学における重松逸造先生の足跡

12：50－14：30 シンポジウムⅠ

「歯の喪失をどう防ぐか－リスクファクターへのアプローチ」

座長：吉野浩一（横浜銀行）、佐々木 健（北海道庁）

1. 話題提供（各10分～15分）
  - (1) 花田信弘（鶴見大学歯学部）：カリエスフリー社会における歯の喪失リスクをどう考えるか
  - (2) 深井穫博（深井保健科学研究所）：歯の喪失の自然史を考える
  - (3) 吉野浩一（横浜銀行）：歯数は歯の喪失のリスクファクターの一つである
  - (4) 相田 潤（東北大学）：歯の喪失防止における社会的決定要因へのアプローチ
2. 指定発言  
鶴本明久（鶴見大学歯学部）：リスクファクターとリスクインディケーター  
俣木志朗（東京医科歯科大学）：保健指導の観点から
3. 討議
4. まとめ  
歯の喪失のリスクファクターとは何か、また、それにどのようにアプローチするか

14：30－15：00

名誉研究員称号授与式：高江洲義矩先生

深井保健科学研究所運営報告

休憩

15：00－16：45 シンポジウムⅡ

「国民皆保険達成50年：歯科医療・口腔保健の新たなチャレンジ」

座長：深井穫博（深井保健科学研究所）、白田千代子（東京医科歯科大学）

1. 話題提供（各10分～15分）
  - (1) 安藤雄一（国立保健医療科学院）：日本の口腔保健50年 At-a-glance

## 資 料

- (2) 恒石美登里（日本歯科総合研究機構）：わが国の歯科医療費の50年間の推移
- (3) 瀧口 徹（新潟医療福祉大学）：保健と医療のベストミックスへのチャレンジー「歯科口腔保健法に基づく優先順位の高い施策研究班」の概要と意義
- (4) 上野尚雄（国立がん研究センター）、大田洋二郎（静岡県立静岡がんセンター）  
：NCDsと口腔保健ーがん治療における医科歯科連携最前線
- (5) 神原正樹（大阪歯科大学）：なぜ日本人の口腔内は改善されたのか、これからのチャレンジは何か

### 2. 指定発言

池主憲夫（池主歯科医院）：日本の歯科公衆衛生の取り組みは何を語るのか

蒲池世史郎（ネパール歯科医療協力会）：日本の歯科医療はどのようなものだったのか

### 3. 討議

### 4. まとめ

なぜ日本人の口腔内の健康状態は改善してきたのか、長寿社会におけるこれからのチャレンジ

16：50 コロキウム2012 提言 深井穫博（深井保健科学研究所）

Policy Statement of FIHS Colloquium 2012 in Tokyo, Japan

17：00 閉会

### ◆FIHS Seminar (102<sup>nd</sup>～112<sup>nd</sup>): How to make an effective English presentation of health science

102<sup>nd</sup> FIHS Seminar

Date; 21 January, 2012, 18:30-20:30

Place; Fukai Institute of Health Science

Lecturer; Kakuhiro Fukai, D.D.S.,PhD. and Koichi Yoshino, D.D.S.,PhD.

103<sup>rd</sup> FIHS Seminar

Date; 25 February, 2012, 18:30-20:30

Place; Fukai Institute of Health Science

Lecturer; Kakuhiro Fukai, D.D.S.,PhD. and Koichi Yoshino, D.D.S.,PhD.

104<sup>th</sup> FIHS Seminar

Date; 28 April, 2012, 18:30-20:30

Place; Fukai Institute of Health Science

Lecturer; Kakuhiro Fukai, D.D.S.,PhD. and Koichi Yoshino, D.D.S.,PhD.

105<sup>th</sup> FIHS Seminar

Date; 12 May, 2012, 18:30-20:30

Place; Fukai Institute of Health Science

Lecturer; Kakuhiro Fukai, D.D.S.,PhD. and Koichi Yoshino, D.D.S.,PhD.

106<sup>th</sup> FIHS Seminar

Date; 4 June, 2012, 18:30-20:30

Place; Fukai Institute of Health Science

Lecturer; Kakuhiro Fukai, D.D.S.,PhD. and Koichi Yoshino, D.D.S.,PhD.

107<sup>th</sup> FIHS Seminar

Date; 14 July, 2012, 18:30-20:30

Place; Fukai Institute of Health Science

Lecturer; Atsushi Oyama, D.D.S.,PhD. and Koichi Yoshino, D.D.S.,PhD.

108<sup>th</sup> FIHS Seminar

Date; 18 August, 2012, 18:30-20:30

Place; Fukai Institute of Health Science

Lecturer; Atsushi Oyama, D.D.S.,PhD. Koichi Yoshino, D.D.S.,PhD. and Kakuhiro Fukai, D.D.S.,PhD.

109<sup>th</sup> FIHS Seminar

Date; 15 September, 2012, 18:30-20:30

Place; Fukai Institute of Health Science

Lecturer; Koichi Yoshino, D.D.S.,PhD. and Kakuhiro Fukai, D.D.S.,PhD.

110<sup>th</sup> FIHS Seminar

Date; 20 October, 2012, 18:30-20:30

Place; Fukai Institute of Health Science

Lecturer; Koichi Yoshino, D.D.S.,PhD. and Kakuhiro Fukai, D.D.S.,PhD.

111<sup>st</sup> FIHS Seminar

Date; 24 November, 2012, 18:30-20:30

Place; Fukai Institute of Health Science

Lecturer; Koichi Yoshino, D.D.S.,PhD. and Kakuhiro Fukai, D.D.S.,PhD.

112<sup>nd</sup> FIHS Seminar

Date; 15 December, 2012, 18:30-20:30

Place; Fukai Institute of Health Science

Lecturer; Koichi Yoshino, D.D.S.,PhD. and Kakuhiro Fukai, D.D.S.,PhD.

◆「歯科疫学研究会」定例セミナー（83回～93回）

第83回歯科疫学セミナー

日 時：2012年1月19日（木）午後7時から

会 場：深井保健科学研究所（埼玉県三郷市彦成3-86）

発表者：深井稜博、安藤雄一、山本龍生

第84回歯科疫学セミナー

日 時：2012年2月16日（木）午後7時から

会 場：深井保健科学研究所（埼玉県三郷市彦成3-86）

発表者：安藤雄一、深井稜博

第85回歯科疫学セミナー

日 時：2012年3月8日（木）午後7時から

会 場：深井保健科学研究所（埼玉県三郷市彦成3-86）

発表者：深井稜博、高柳篤史、山本龍生

第86回歯科疫学セミナー

日 時：2012年4月12日（木）午後7時から

会 場：深井保健科学研究所（埼玉県三郷市彦成3-86）

資 料

発表者：安藤雄一、恒石美登里

第87回歯科疫学セミナー

日 時：2012年5月17日（木）午後7時から

会 場：深井保健科学研究所（埼玉県三郷市彦成3-86）

発表者：安藤雄一、恒石美登里

第88回歯科疫学セミナー

日 時：2012年6月21日（木）午後7時から

会 場：深井保健科学研究所（埼玉県三郷市彦成3-86）

発表者：恒石美登里、安藤雄一、深井穫博

第89回歯科疫学セミナー

日 時：2012年8月9日（木）午後7時から

会 場：深井保健科学研究所（埼玉県三郷市彦成3-86）

発表者：清水六花、安藤雄一、恒石美登里、深井穫博

第90回歯科疫学セミナー

日 時：2012年9月13日（木）午後7時から

会 場：深井保健科学研究所（埼玉県三郷市彦成3-86）

発表者：深井穫博、高柳篤史、安藤雄一

第91回歯科疫学セミナー

日 時：2012年10月11日（木）午後7時から

会 場：深井保健科学研究所（埼玉県三郷市彦成3-86）

発表者：遠藤眞美、恒石美登里

第92回歯科疫学セミナー

日 時：2012年11月8日（木）午後7時から

会 場：深井保健科学研究所（埼玉県三郷市彦成3-86）

発表者：石田智洋、深井穫博

第93回歯科疫学セミナー

日 時：2012年12月20日（木）午後7時から

会 場：深井保健科学研究所（埼玉県三郷市彦成3-86）

発表者：安藤雄一、石田智洋